

4月定例記者会見の概要

- 1 日時 平成31年4月8日(月) 15時30分～16時30分
- 2 場所 本庁舎3階 第一会議室

3 出席者 <報道機関>

朝日新聞社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)
NHK 南相馬報道室(南相馬記者クラブ会員)
河北新報社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)
毎日新聞社南相馬通信部(南相馬記者クラブ会員)
読売新聞社南相馬通信部(南相馬記者クラブ会員)
福島民報社南相馬支社(南相馬記者クラブ会員)
福島民友新聞社相双支社(南相馬記者クラブ会員)
テレビユー福島(TUF)
みなみそうまチャンネル

計 9 社

<市側>

市長 林副市長 松浦副市長 教育長
小高区役所長 鹿島区役所長 総務部長 復興企画部長
市民生活部長 健康福祉部長 こども未来部長
経済部長 経済部理事 建設部長 総合病院事務部長
教育委員会事務局長

計 16 人

(司会進行)秘書課長
(会議記録)秘書課広報広聴係

【市政報告】

皆さんこんにちは。お集まりいただきありがとうございます。

本日の定例記者会見は、市内小中学校の入学式があったことから、時間をずらしての記者会見開催となりました。

新入学生の、希望と期待に満ち溢れた表情を拝見して、こちらも元気を分けていただいたと思います。

また、祝辞の中で、校長先生をはじめとした諸先生方には、多くの子供達に南相馬市の伝統や、文化、自然の豊かさを教えていただき、ふるさとのすばらしさを伝えてほしいとお願いしてきたところです。このような「至誠学(まごころ学)」を通して、子供達がふるさとに誇りがもてるようなまちづくりに努めてまいりたいと思います。

それでは、平成最後となる定例記者会見を始めさせていただきます。

1週間前に平成31年度がスタートとなり、今年度は「復興総合計画 後期基本計画」のスタートの年になります。しっかりと100年のまちづくりを目指し、計画の遂行に向けて力を注いでまいります。

なお、今回、組織機構改革も行っております。組織機構改革によって担当課の場所や連絡先が変わった部署もあります。市民の皆様には新体制に慣れていただくために多少時間がかかるかもしれませんが、職員の案内や声掛けによって、一日も早く浸透するように努めてまいります。

次に、前回の記者会見からのご報告を申し上げます。

3月26日には、全国植樹祭の会場跡地において、天皇陛下在位30年を記念した記念植樹を行うとともに、県主催の御製碑の除幕式に出席してまいりました。御製碑には天皇陛下が全国植樹祭の思い出を詠まれた歌が刻まれています。市民の皆様も、是非お立ち寄りいただければと思います。

3月27日には、浪江町と連携協議に係る覚書の締結式に出席してきました。両市町は福島ロボットテストフィールドを核とした復興・創生を進めている点や、震災と原発事故で被災した近隣自治体である点などで共有する課題が多く存在することから、これらの課題を解決し、両市町の復興を加速させるため、今後の連携に向けて協議・検討を進めてまいります。

4月1日には、復興庁から福島再生加速化交付金の採択結果が発表となりました。南相馬市が関係する事業としては、原町川俣線の道路整備事業、小高区こどもの遊び場の整備事業、小高区大規模乾燥調製貯蔵施設の整備事業などが含まれています。

特に道路整備事業に関してはインターチェンジから福島ロボットテストフィールドに向かうアクセス道路の調査設計費であり、福島イノベーション・コースト構想の実現を強力に後押しするものであると考えております。

先週は、夜の森公園で桜まつりライトアップ点灯式が行われました。市内の桜は、先週末の陽気もあり、今まさに見頃を迎えております。今週は肌寒い日が続く見込みですので、今年の桜は例年より長い期間楽しめると思います。

来週からは、3週連続で春のお祭りなどが開催されます。

後ほど各部長から詳しい報告がありますが、日付順で紹介しますと、4月14日(日)には小高区「浮舟まつり」、20日(土)・21日(日)には鹿島区「第26回万葉の里 かしま春まつり」と、「セデッテかしま4周年記念感謝祭」、21日(日)は「第72回相馬野馬追復興春季競馬大会」が開催され、ゴールデンウィークに入る4月28日(日)には、春の市民まつりが旭公園で開催されます。

経済商工関係の話題としては、NEDOとのロボット関連人材育成に関する協定署名式や、日本エンコン株式会社の市内工業団地における工場の竣工式が予定さ

れています。

NEDOの協定署名式は、市からのプレスリリースで記者の皆様へお伝えしておりますが、日本エンコン株式会社の竣工式については、のちほど経済部長より改めて報告させていただきたいと思っております。

新天皇の即位に伴って、ゴールデンウィークは10連休となります。市役所は閉庁となりますが、4月30日から5月6日にかけては、市役所本庁舎と各区役所に新天皇のご即位をお祝いするため、記帳所を設置します。

なお、連休中の医療機関の対応についてですが、市立総合病院は1日、2日の両日、通常診療を行います。総合病院も含めた市内医療機関の診療日、また、10連休中のごみの収集状況については、お手元に広報みなみそうま4月15日号の該当ページをお配りしております。市民の皆様への周知にご協力いただければと思っております。

私からの報告は以上です。各部長による報告のあと、皆さんからのご質問をお受けいたします。

【各部からの報告】

小高区役所

- ・浮舟まつりの開催について

鹿島区役所

- ・平成31年度万葉の里 かしま春まつりの開催について

復興企画部

- ・平成31年南相馬市消防団春季検閲式について

経済部

- ・日本エンコン株式会社の市内工業団地進出について
- ・平成31年度春の市民まつりの開催について
- ・セデッテかしま4周年記念感謝祭の開催について
- ・平成31年度第72回相馬野馬追振興春季競馬大会の開催について
- ・小高つながる市について

【質疑応答】

質問1：

記帳所の受付に関して、スケジュールを教えてください。

回答1：市長

4月30日～5月6日、市民課ホールで8時30分～17時00分の間で受付を行います。

質問 2 :

小高つながる市についてですが、無印良品が協力に参加することでその点について、何かありましたらお答えください。また、今回の参加については、無印良品側から協力の申し出があったのかも教えてください。

回答 2 : 経済部長

無印良品はこれまでも地域の振興、復興等に協力してきた経過もあり、今回のつながる市についてもトータルでコーディネートいただけることになっております。

協力の申し出については、柳美里さんから無印良品側へ協力、支援を申し入れていただき、先方から快諾いただいた経過があり、今回の初開催となっております。

質問 3 :

ゴールデンウィーク期間中、クリーン原町センターへのゴミの持ち込みはできないのでしょうか。

回答 3 : 市長

ゴールデンウィーク期間中の持ち込みに関しては 4 月 29 日を開放日として設けています。

質問 4 :

浪江町との協定の話がありましたが、この先、浪江町との合併等はお考えでしょうか。

回答 4 : 市長

今回の協定は合併が前提となっているものではありません。市としては、まず、震災によって失われた一体感の醸成と足場固めをしっかりとやっていく時期であると考えています。

ただ、ロボットテストフィールドのような市単独で完結できない業務については、お互いに協力、連携していくことが必要であると考えて、今回の覚書を交わしたところです。

浪江町長も私も変わったばかりですので、改めてスタートを切ることができたと考えております。

質問 5 :

羽倉行政区の除去土壌の再生利用について行政区長への説明が初めて行われたところですが、賛成意見は無かったと認識しています。市としてはこれを受けて何かしら対応を実施したのでしょうか。また、この事業を進めると仮定した場合、条件等があれば教えてください。

回答 5 : 市長

現時点で市として具体的な対応は行っていません。環境省から実証事業に関する相談があり、市としてその方向性については理解していますが、環境省に対しては「住民に対して十分に説明してほしい」と要望を伝えたところです。その後、環境省から正式な話は来ていませんので、現段階においては市として具体的に動く段階ではないと考えています。

また、事業を進める条件ですが、住民の理解が重要であると考えており、環境省

には十分に説明いただき、その上で説明会に出席されている行政区長や地域をとりまとめている方々の理解を得ることが必要だと考えていますが、現在の状況が長く続くようであれば、実証事業を受けないといったことも考えていきたいと思えます。

質問6：

JNNの取材の中で、前市長が小高スマートインターチェンジを作るために再生利用を受け入れることで便宜を図ってもらったとコメントしています。このことについてどう考えているのか、また、それが事実であった場合、事業を一旦止めるなど市として対応を行うつもりはあるのでしょうか。

回答6：市長

コメントについては率直に驚いております。ただ、私は前市長からそういった話を聞いておりません。過去に再生利用に関する意見交換はあったようですが、私が議事録や面会記録で確認した限り、そういった記録も約束も無いというのが実態です。

また、実証事業については国の出した方針について筋論として理解していますが、再生利用は考えていないと伝えてあり、昨年度の段階で「再生利用自体を白紙にしてほしい」と申し上げております。そのため、事業を止めるというより再生利用の事業そのものが進んでいないという認識です。

小高スマートインターチェンジに関しては就任以来、総決起大会を行うなど様々な取り組みを実施してきており、南相馬市の復興、ロボットテストフィールドを生かす意味でも市の復興に必要な事業であると考えています。様々な箇所に対して正面からお願いや計画を行っているところですので、市の現在の姿を真っ直ぐに見ていただければと思います。

質問7：

記帳所を設けることに対する市長の思いをお答えください。また、新元号の「令和」は万葉集からの引用と報道されていますが、鹿島区も万葉の里ということで、関連した市内の動きがあれば教えてください。

回答7：市長

今の天皇皇后両陛下には昨年6月に全国植樹祭にお出でいただき、また、その前段から被災地に目をかけて、ご心配いただいていたというところで、感謝の気持ちがあります。併せて、新たに即位される天皇陛下に対しては日本国の象徴としてお力を発揮いただきたいとの期待を込めて、市を挙げてその気持ちを表現する方法がないかと検討し、記帳所を設けることとなった次第であります。

市内の動きについては把握しておりませんが、安倍首相の記者会見では「厳しい寒さの後に見事に咲き誇る梅のように、一人ひとりの日本人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる」と、その元号に向けた思いを語っておられました。

まさに、被災から復興を遂げようとする南相馬にもふさわしい元号のように思えます。未来に向かってどういう南相馬にしていくのか、100年後も子供たち、孫たちが笑顔でこの町で暮らせるように、持続可能なまちづくりを目指して様々な取り組みを進めてまいります。

質問 8 :

N E D O の協定に関して期待することがあれば教えてください。

回答 8 : 市長

南相馬市復興総合計画の後期基本計画では、ロボットテストフィールドを活用した人材育成・確保に触れております。その一つの手段として、N E D O の業界とのつながりを生かして、市内の子供達の教育も含めて対応いただけるということで、とてもありがたく思っており、良い結果が出るものと期待しています。

質問 9 :

小高病院の入院機能の再開について、現時点で確約的なものや、時期などを明示できていないところではありますが、市長の任期が後 3 年ということでその中で目指されるということでしょうか。

回答 9 : 市長

これまでも「努力します」ということで、今後の目途に関しては申し上げてきておりませんでした。が、「任期中にどの程度まで目途をつけられるか」というところは私の責務であり、任期中の一つの目安だと考えています。

質問 10 :

入院機能の再開までたどり着けるか否かは別として、任期中にある程度の目途が示されるという理解でよろしいでしょうか。

回答 10 : 市長

努力いたします。

質問 11 :

入院機能の再開に向けては人手不足の解消など、予算確保が必要であると思いますが、今年度はどのように対応をすすめていくかお答えください。

回答 11 : 市長

予算の話については、市民の理解と議会の議決が重要であると認識しておりますが、まずは足元を固めるためにも、今の外来診療をより良い質の高いものへ変えていくことこそが重要であると考えております。また、小高病院の件をきっかけに多くのご支援の申し出もありました。河合先生もそういった申し出からご支援いただくこととなった経過もございます。

引き続き、様々なところにお声掛けしながら、小高病院、総合病院といった南相馬市としての医療への協力を得られるように努力していく必要があると考えます。

質問 12 :

河合先生も医師不足に貢献したいということで入られたとのことですが、今後もそのような先生を探していくということでしょうか。

回答 12 : 市長

従来から問題となっている小児科、泌尿器科、消化器科などは、潤沢な専門医が居るわけではありません。入院などについて言えば、最低 2 名は必要であり、先生方が安心して、継続的に仕事を行っていくためには 3、4 名程度は必要であると考

えています。引き続き、様々な分野の先生方にお声掛けして、ご理解いただければ
と思います。